

執筆者紹介（執筆順）

高田 康成（TAKADA Yasunari）

東京大学大学院総合文化研究科教授。専攻は表象古典文化論。著書に、『キケロ——ヨーロッパの知的伝統』、『クリティカル・モーメント——批評の根源と臨界の認識』、*Transcendental Descent: Essays in Literature and Philosophy, Classics and National Cultures* 他、多数。

アンドリュー・ブリーズ（Andrew BREEZE）

専門は中世英語学、特に中世ウェールズ語に造詣が深い。現在はスペインのナヴァラ大学で教鞭をとっているが、出身はイギリス。*The Origins of the 'Four Branches of the Mabinogi'*、*The Mary of the Celts: The Virgin Mary in Celtic Britain and Ireland* など、著書、論文、多数。

パトリック・オニール（Patrick O'NEILL）

アイルランドのウォーターフォード生まれ。アメリカ、ノースカロライナ大学教授。専門分野は、古英語・中英語・中世アイルランド語・中世ウェールズ語の言語と文学である。著書 *King Alfred's Old English Prose Translation of the First Fifty Psalms* に対して、優れた中世研究者に贈られるサー・イズラエル・ゴランツ・プライズを受賞している。

平田 渡（HIRATA Wataru）

福岡県生まれ。神戸市外国語大学大学院修了。関西大学外国語学部教授。専攻はスペイン文学、ラテンアメリカ文学。訳書にラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ『グレゲリーア抄』、『乳房抄』、フェデリコ・アンダーシ『解剖学者』、アレホ・カルベンティエール『エクエ・ヤンバ・オー』、『この世の王国』（共訳）ほか多数。

八亀 徳也（YAKAME Tokuya）

関西大学文学部教授。専門分野はドイツ文学。長年、疾風怒濤時代の作家、主としてシラーとレンツ、ならびにドイツ市民劇の研究に努めてきた。現在の研究の中心は、死後2世紀以上受容され続けてきたレンツが、後世の作家の作品の中で主人公としてどのように描かれているかを、時代にそって解明していくこと。またここ数年は、ヨーロッパ内を広く移動したレンツが深く関わった異文化の地域であるアルザスとバルト三国、とくにエストニアとラトヴィアに注目し、現地調査を繰り返している。

和田 葉子 (WADA Yoko)

神戸生まれ。関西大学外国語学部教授。専門は中世英語英文学および写本学、特に *Ancrene Wisse* を中心に研究している。 *A Book of Ancrene Wisse, A Companion to Ancrene Wisse* など、著書、論文、多数。

加藤 雅人 (KATO Masato)

関西大学外国語学部教授。京都大学大学院文学研究科博士課程学修。博士（文学）。『哲学の歴史 3 神との対話』、『中世哲学を学ぶ人のために』、『ガンのヘンリクス哲学』、『中世末期の言語・自然哲学』、『後期スコラ学』、『岩波哲学・思想事典』、『岩波キリスト教辞典』など著書、論文、多数。

関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ 8

国境なきヨーロッパ

—文学と思想における異文化接触の形—

平成 22 年 3 月 31 日 発行

編 著 者 和 田 葉 子

発 行 者 関西大学東西学術研究所
〒 564-8680 吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号

発 行 所 関 西 大 学 出 版 部
〒 564-8680 吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号

印 刷 所 株式会社 N P C コーポレーション
〒 530-0043 大阪市北区天満 1-9-19

©2010 Andrew BREEZE, Wataru HIRATA, Masato KATO, Patrick O'NEILL,
Yasunari TAKADA, Yoko WADA, Tokuya YAKAME Printed in Japan

ISBN978-4-87354-496-0 C3098

落丁・乱丁はお取りかえします。